

平成30(2018)年度  
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻  
修士課程(社会情報学コース・一般選抜)

入学試験問題  
専 門 科 目

(平成29年8月21日 14:00~16:00)

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. これは、社会情報学コース・一般選抜の問題冊子である。
2. 本冊子の本文は7ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は3枚ある。問題ごとに解答用紙1枚を使用すること。このほかにメモ用紙が1枚ある。なお、解答用紙のみが採点の対象となる。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号(例:「第1問」)、選択記号がある場合にはその記号(例:「第2問A」)及び受験番号を必ず記入すること。問題番号、選択記号及び受験番号を記入していない答案は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用すること。
6. 解答は日本語によるものとする。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏 名	

社会情報学（一般選抜） 第1問

次の英文を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Pentland, A. (2014) *Social Physics: How Social Networks Can Make Us Smarter*, Penguin Press.

- (1) 下線部 (a) について、it の内容を明確にしながらか文意に即し 200 字程度で説明しなさい。
- (2) 下線部 (b) を訳しなさい。
- (3) 著者の記述を踏まえながら、デジタルネットワークの登場によって、これまでになく変化が生じた実例を 1 つ取り上げ、400 字程度で具体的に説明しなさい。

社会情報学（一般選抜） 第2問

以下の（A）から（F）までの中から1問を選択し、選択した問題の記号を解答用紙に明記の上、答えなさい。

- （A）近年、人工知能（AI）やモノのインターネット（IoT）などの先端的技術を利用したデータ処理に伴って生じるさまざまな法的課題が議論されている。
- （1）そうした法的課題について、複数の具体例を挙げた上で、500字程度で説明しなさい。
  - （2）上記（1）で説明した法的課題に対して、あなたが最善と考える対応策を、関連する日本の法令・裁判例に触れながら、500字程度で論じなさい。
- （B）2016年の新聞通信調査会の調べでは、「インターネットのニュースを閲覧している人は50代以下で8割を超え、新聞朝刊の閲読率を上回った」（「第9回メディアに関する全国世論調査」44頁）という。こうしたメディアの利用傾向の変化は、報道内容にも影響を及ぼすと考えられている。あなたは、どのような影響があると考えるか。3点挙げて、それぞれに理由も記しなさい。各点について、理由も含めて300字程度を目安とし、全体で1000字程度にまとめること。
- （C）選挙権威主義体制について、以下の問いに答えなさい。
- （1）選挙権威主義体制について、主要な要素を明示しつつ、400字程度で説明しなさい。
  - （2）選挙権威主義体制に対して、現在までの情報通信技術の発達が及ぼし得る影響について、具体例も交えて600字程度で説明しなさい。

【(D) は次頁】

(D) 人工知能と経済に関して、以下の問いに答えなさい。

(1) モノのインターネット (IoT)、クラウドコンピューティング、特化型人工知能 (汎用人工知能ではない)、ビッグデータの内容を明らかにしつつ、これらの関係について 600 字程度で述べなさい。

(2) (1) の関係性は経済にどのような影響を与えるとあなたは考えるのか、400 字程度で自分の意見を述べなさい。

【(E) は次頁】

- (E) 下記の図 E-1 は、駐車中の自分の車のワイパーにはさまれていたチラシをポイ捨てするかどうか観察したフィールド実験の結果である。以下の問いに答えなさい。

下記出典の文章を掲載しています。

出典 Cialdini, R.B., Reno, R.R. and Kallgren, C.A. (1990) A Focus Theory of Normative Conduct: Recycling the Concept of Norms to Reduce Littering in Public Places, *Journal of Personality and Social Psychology*, Vol. 58, No. 6, 1015-1026. に基づいて作成。

- (2) 筆者らは「ポイ捨ては悪い」という一般的な規範はいつも意識されているわけではないと主張している。筆者らの別の研究では、チラシを受け取った歩行者の 38% がポイ捨てしたのに対して、ほかの人がゴミを捨てているのを目撃した場合のポイ捨て率は 4% まで下がった。この結果について、筆者らの主張を踏まえて 300 字程度で説明しなさい。
- (3) 図 E-1 に示した実験結果では、駐車場環境と目撃行動との交互作用も有意であった。駐車場環境の違いによって、ポイ捨て行動の目撃は異なる影響を与えたことになる。この結果をどのように説明すればよいか、(2) で述べた筆者らの主張を踏まえて、あなたの考えを 400 字程度で述べなさい。

【(F) は次頁】

- (F) 次の文章は、マックス・ヴェーバー『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』（岩波文庫）の一部である。これを読んで以下の問いに答えなさい。

経験科学は、なんびとにも、なにをなすべきかを教えることはできず、ただ、かれがなにをなしうるか、また〔略〕なにを意欲しているか、を教えられるにすぎない。(35頁)

もとより、実践的な政治家にとっては、個々のばあいには、現存する意見対立を調停することが、そのうちのひとつに加担することとまったく同様、主体的に義務を果たすことでもありうる。しかし、そうしたことは、科学上の「客観性」とは、いささかも関係がない。「中間派」は、左翼または右翼の極端な党派的理想に比して、髪の毛一筋ほども、科学的真理に近づいてはいない。(42頁)

- (1) 経験科学が追求すべき目標に関するヴェーバーの立場を、200字程度で説明しなさい。
- (2) ヴェーバーは社会科学が採用すべき方法論に関して「理想型」(Ideal-typus) という概念を提唱している。これについて200字程度で説明しなさい。
- (3) 社会学的研究は、社会構成員の間に政治的対立の存在するような問題に対し、どのようなアプローチで、どのような貢献をなしうるか、またその際どのような点に注意すべきかについて、具体的な事例を挙げながら、あわせて600字程度で説明しなさい。

社会情報学（一般選抜） 第3問

以下の(a)から(f)までの6つの群から1つの群のみを選択し、その群に列記されている5つのカナ記号（(ア)～(オ)）のうち3つを選択して、選択した用語の意味を、それぞれ300字程度で説明しなさい。その際、必ず選択したアルファベット記号及びカナ記号を解答用紙に明記すること（これらのアルファベット記号及びカナ記号が記載されていない解答は無効とする）。

(a)

- (ア) 国政調査権
- (イ) 名誉毀損罪
- (ウ) 令状主義
- (エ) わいせつ表現に対する規制
- (オ) 不正競争防止法

(b)

- (ア) メディアによるシニシズム (media cynicism)
- (イ) 白虹事件 (1918年)
- (ウ) 放送免許 (broadcast license)
- (エ) B. ブレヒトのラジオ理論 (B. Brecht's radio theory)
- (オ) パナマ文書 (Panama papers)

(c)

- (ア) 保護する責任 (responsibility to protect)
- (イ) クライエンテリズム (clientelism)
- (ウ) 自由民主主義 (liberal democracy)
- (エ) 安全保障化 (securitization)
- (オ) 覇権安定論 (hegemonic stability theory)

【(d)、(e) 及び (f) は次頁】

(d)

- (ア) フィンテック (Fintech)
- (イ) 機械学習 (Machine Learning)
- (ウ) 実質賃金
- (エ) ナッシュ均衡
- (オ) SDGs (Sustainable Development Goals)

(e)

- (ア) 自己評価維持モデル (SEM モデル)
- (イ) フォールス・コンセンサス効果
- (ウ) 内集団ひいき
- (エ) 単純接触効果
- (オ) 擬似相関

(f)

- (ア) 社会分業論
- (イ) 複雑性の縮減
- (ウ) 印象操作 (E. Goffman)
- (エ) 科学社会学におけるエディンバラ学派
- (オ) 統計的有意性